

第8回 やまねこ博覧会 開催報告

開催期間：令和元年10月19日(土)，20日(日)

開催場所：京都市動物園

京都市動物園では、絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組をより深く知っていただくためのイベント「第8回やまねこ博覧会」を開催しました。

来園者数：19日(土) 692人 雨
20日(日) 7,562人 晴



第8回 案内ポスター

やまねこふわふわ

両日ともに、ツシマヤマネコのエアークッション「やまねこふわふわ」が登場しました。1日目はあいにくの雨でしたが、2日目には多くの子どもたちで賑わいました。

参加人数：10月19日（土）80名
10月20日（日）546名



サクラちゃんと一緒に 10:00/11:00/14:00/15:00

両日ともに、正面エントランスレクチャールームにて、京都市動物園のツシマヤマネコのマスコットキャラクター「サクラちゃん」との記念撮影イベントを行いました。

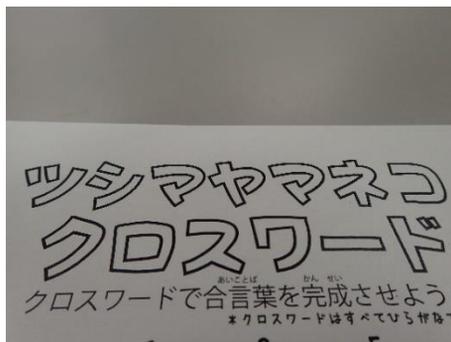
10月19日（土） 10月20日（日）
参加者：87組 参加者：469組



ツシマヤマネコ クロスワード

両日ともに、今回が初となるイベント「ツシマヤマネコ クロスワード」を行いました。クロスワードパズルを解きながら、ツシマヤマネコについて楽しく学んでいただける機会になったと思います。正解者には、現在京都市動物園にいるツシマヤマネコ4頭の写真入りマグネットをプレゼントしました。

10月19日（土） 10月20日（日）
景品配布：25名 景品配布：50名



参加協力団体によるブース出展 9:00～16:00



両日ともに、「対馬市役所」，「一般社団法人M I T」，「NPO法人 どうぶつたちの病院」，「NPO法人 ツシマヤマネコを守る会」，19日(土)のみ「岐阜大学応用生物学部」，20日(日)のみ「関西大学第一高等学校・中学校生物部」によるツシマヤマネコの保全に関するブース出展が行われました。動物園の職員も欲しくなるような素敵なグッズを初め，パネル展示や参加型イベントを通してツシマヤマネコの魅力を伝えていただきました。来園者の方々も楽しんでいただけたようです。



園併設レストランでの卓上ポップ設置とコースター配布



やまねこ博覧会に先駆けて，10月中旬から園に併設されているレストラン「ひな野」と「ミライハウス」にて，対馬やツシマヤマネコについて書かれた卓上ポップが設置され，ツシマヤマネコの可愛い写真が印刷されたコースター3種類を使用してもらっていました。

やまねこ講演会 13:30～15:10

繁殖棟にいるツシヤママネコたち、この1年（京都市動物園 種の保存展示課 中原 文子）



ツシヤママネコの野生復帰事業～野生順化ステーションでの取組～（環境省ツシヤママネコ野生順化ステーション 岩下 明生）



国境の島対馬、その独特な生物相～日本と大陸を繋ぐ証たち～（合同会社対馬自然写真研究所 川口 誠）



2日目の午後に開催した「やまねこ講演会」では、3人の方にお話をいただきました。当園のツシヤママネコ繁殖棟の担当者からは、非公開施設のため普段御覧いただけない繁殖棟のツシヤママネコたちのこの1年間の出来事について話をしました。対馬の野生順化ステーションの岩下明生さんからは、野生順化ステーションでのこれまでの取組と今後の取組についてお話をいただきました。ようやく野生順化ステーションにツシヤママネコが来たので、これからの発展に期待が集まります。対馬で野生のツシヤママネコの写真を撮っておられる写真家の川口誠さんからは、ツシヤママネコだけでなく他の対馬にいる生き物のお話をいただきました。ツシヤママネコについてすでにある程度御存知という方々に多く御参加いただき、ツシヤママネコについても、対馬についてもたくさんの質問をいただきました。

参加人数：51名

川口誠さん写真展 「対馬の自然と生き物たち」



10月1日(火)から20日(日)まで、講演会でもお話いただいた写真家 川口誠さんが撮影されたツシヤママネコの写真パネルを、もうじゅうワールドに展示する写真展を行っていました。対馬での野生の姿をたくさんの方に知ってもらえる良い機会になりました。